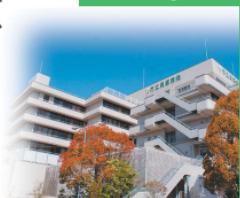


Q 「腰痛」があります。注意すべき点はありますか？

回答：市立貝塚病院

整形外科部長 尾上仁彦 医師



A 腰痛は頻度が高い症状ですが、多くの場合、1ヶ月以内に自然に治癒する良性疾患です。ところが、1ヶ月を超えて継続する腰痛は、注意が必要です。治りにくい腰痛は、椎間板障

1ヶ月以上、夜間痛や熱発、神経症状の腰痛は要注意

害、骨の変形や神経の圧迫などが原因になっていることが多く、これらは日にち薬だけでは改善しにくく、受診が必要になるケースが多いと思われます。また、頻度は少ないですが、

治りにくい腰痛のかには、腫瘍（安静時）、感染（熱発を伴う）といった、治療の遅れにより結果が重篤になるものが含まれます。

ほかに、緊急性の

高い腰痛として、麻痺（脚に力が入りにくく）や膀胱直腸障害（排尿排便しにくく、もれる）を伴うもの、内科的疾患の一部（腹部大動脈瘤の解離など）は早期

当院では、急性期の腰痛から、慢性期の難治性腰痛まであらゆる腰痛を治療しております。また、2017年2月からは、腰椎の精密検査に必要なMRI（磁気共鳴画像装置）が新しいものにかわり、診断精度の向上も期待されます。

腰痛でお悩みの方は、医療機関で専門医に早めに相談してくだされ。

問TEL 072-422-0505

〒590-0010 市立貝塚病院
(貝塚市堀3-10-20)

<http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/>